

2019年関東ロールシャッハ複合研究会のご案内

関東地区でもロールシャッハ阪大法を学ぶ機会を持つこととなりましたので、皆様にご紹介いたします。

阪大法は『構造分析』を用いてロールシャッハの解釈を進める方法です。これは、被験者の内面のプロセスに焦点をあて、そのスコアを産出するに至った被験者の体験世界を構造的・論理的に読み取ろうとする分析方法です。

本研究会では、事例検討や文献購読（辻悟『ロールシャッハ検査法』等）を通して理解を深めていきます。一般的には難解だというイメージのある阪大法ですが、その魅力に触れることで、これからロールシャッハを学んでいきたいと思う方だけでなく、他のスクールで学んできた方々の日々の疑問や病態理解、心理療法へのつなげ方等についてさらなる深みを提供できるものと確信いたしております。各参加者が自由に意見を出しながら、異なる考え方や視点の間を行き来し、その中で各々が日々の臨床に生かすことのできる手がかりを主体的に発見できる場になればと考えております。皆様のご参加をお待ちしております。

日程

・通常（全6回）事例検討や読書会、阪大法初学者のためのインストラクション等

日曜日（不定期） 13：00～17：00

4/6、6/30、7/28、9/8、12/15、3/8

・講師をお招きする回（全6回）事例検討 講師：橋本朋広先生（放送大学）

不定期開催（平日の場合は19：00～21：00、土日祝日の場合は13：00～16：00）

5/15、8/24、10/4、11/15、1/13、2/6

会場

東京駅周辺（お申し込み後にお知らせいたします）

定員

30名（先着順）

参加資格

・ロールシャッハテストのスコアリングがある程度でき、基礎的研修が終了している方。（できれば事例提供が可能な方。）

・臨床心理学を学んでいる大学院生、臨床心理士、公認心理師等守秘義務を守っていただける方。

受講料

・通常回＋講師をお招きする回（全12回） 30000円（大学院生20000円）

・講師をお招きする回のみ（全6回）20000円（大学院生15000円）

・単発での参加

A：講師をお招きする回 3000円

B：通常回 2000円

* 年度途中からの入会の場合残回数に応じた金額になります。

* この研究会は認定協会の条件を満たすことができれば、臨床心理士有資格者の資格更新のための研修ポイントになるよう申請の予定です。

テキスト

・『ロールシャッハ・スコアリング：阪大法マニュアル』辻悟、福永知子 金子書房

・『ロールシャッハ検査法—形式構造解析に基づく解釈の理論と実際』辻悟 金子書房

※上記2冊のテキストの購入は必須です。学会割等を利用されるか、当会にて著者割価格でご購入をお勧めいたします。

・『こころへの途—精神・心理臨床とロールシャッハ学』辻悟 金子書房

・『治療精神医学の実践 こころのホームとアウェイ』辻悟 創元社

申込方法

(1)氏名（フリガナ）、(2)連絡先電話番号、メールアドレス、(3)所属、(4)臨床心理士資格の有無（登録番号）、(5)公認心理師資格の有無（登録番号）、(6)臨床経験年数、(7)所属学会

を明記の上メール（e.rorschach.fsg@gmail.com）でお申し込みください。

追ってお支払方法をお送りいたします。

お問い合わせ先

Email : e.rorschach.fsg@gmail.com （三原）